

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2017年5月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体で956件の相談が寄せられた。前年は5月に「女性のための全国一斉労働相談」を実施したため、前年同月と比べると件数は減少傾向にあるが、割合で見ると、性別では男性からの相談、年代別では10代・20代・40代からの相談、雇用形態別では正社員・アルバイト・派遣社員・契約社員・臨時非常勤職員からの相談が増加した。

■業種別では、「医療・福祉」が20.6%と最も多く、次いで「サービス業」(16.9%)、「製造業」(15.1%)となっている。相談内容では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が15.3%と最も多く、次いで「雇用契約・就業規則」(10.7%)、「解雇・退職強要・契約打ち」(10.1%)となっている。

■具体的な相談では、「ある職員のいじめのせいで何人もの職員が退職しているが、上司に訴えても何も対応してもらえない」「上司からやってもいないミスを何度も責められたあげく、正社員から賃金が半分以下であるパートに降格すると言われたので拒否したら、解雇すると言われた」「いきなり『本日付けで解雇する。従わないなら論旨免職にする』と言われた」といった相談が医療・福祉業界で働く人から寄せられた。

		2017年		2016年			
集計対象期間		5月1日～5月31日		5月1日～5月31日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		956		1,427			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	495	51.9%	男性	617	43.3%	
	女性	458	48.1%	女性	808	56.7%	
年代 (不明除く)	10代	8	1.1%	10代	4	0.4%	
	20代	105	14.1%	20代	110	10.3%	
	30代	148	19.8%	30代	240	22.5%	
	40代	246	32.9%	40代	336	31.4%	
	50代	163	21.8%	50代	244	22.8%	
	60代	67	9.0%	60代	117	10.9%	
	70代	10	1.3%	70代	18	1.7%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	447	49.4%	正社員	646	48.2%	
	パート	143	15.8%	パート	266	19.8%	
	アルバイト	65	7.2%	アルバイト	84	6.3%	
	派遣社員	74	8.2%	派遣社員	88	6.6%	
	契約社員	91	10.1%	契約社員	133	9.9%	
	嘱託社員	4	0.4%	嘱託社員	18	1.3%	
	臨時・非常勤職員	9	1.0%	臨時・非常勤職員	9	0.7%	
	その他	71	7.9%	その他	97	7.2%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	136	20.6%	サービス業(他に分類されないもの)	198	19.0%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	112	16.9%	医療・福祉	187	17.9%
	3位	製造業	100	15.1%	製造業	139	13.3%
	4位	卸売・小売業	89	13.5%	卸売・小売業	132	12.7%
	5位	運輸業	64	9.7%	運輸業	74	7.1%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	146	15.3%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	257	18.0%
	2位	雇用契約・就業規則	102	10.7%	解雇・退職強要・契約打ち	122	8.5%
	3位	解雇・退職強要・契約打ち	97	10.1%	雇用契約・就業規則	104	7.3%
	4位	退職金・退職手続	77	8.1%	退職金・退職手続	91	6.4%
	5位	賃金未払	51	5.3%	年次有給休暇	74	5.2%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	16	2.0%	/			
	ラジオ・テレビ	21	2.6%				
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	89	11.1%				
	ホームページ	419	52.3%				
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	15	1.9%				
	紹介(労基署等)	49	6.1%				
	その他	192	24.0%				